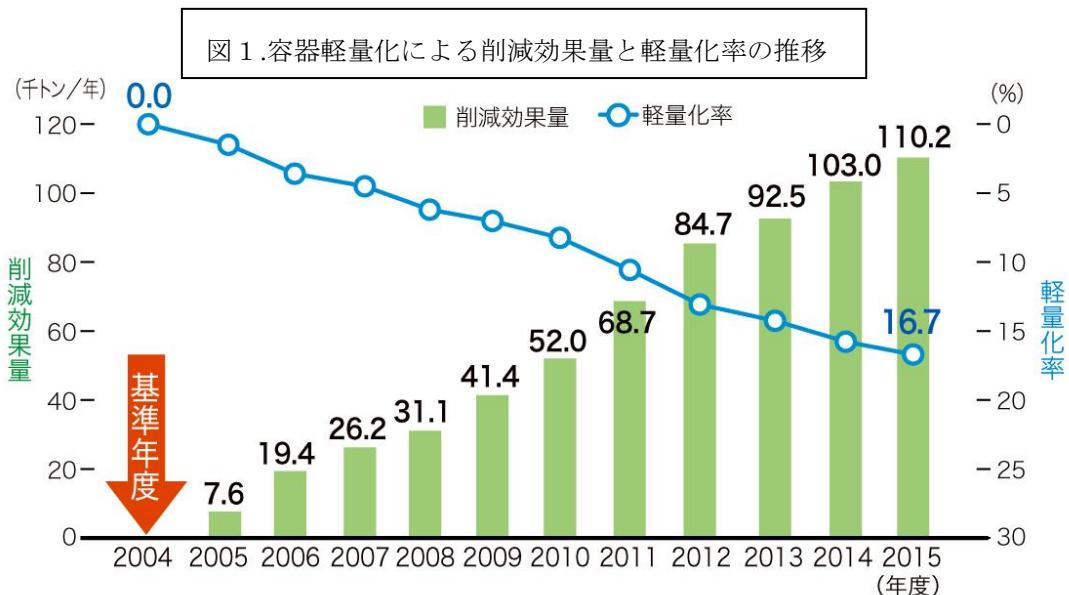


2. PETボトルリサイクル推進協議会

リデュースへの取り組み成果 2015 年度軽量化 16.7%

2015 年度の PET ボトル軽量化は、全体では、削減効果量で 110 千トン、軽量化率 16.7% を達成いたしました。



また、主要 17 品種ごとに目標値を設定した中で、15 種で修正後の 2015 年度軽量化目標値を達成しました（清涼飲料の耐熱 350ml・500ml・1,500ml・2,000ml、耐圧 500ml・1,500ml、無菌 500ml、酒類 2,700ml・4,000ml、みりん 1,000ml・1,800ml、しょうゆ 500ml・1,800ml、しょうゆ加工品 500ml・1,000ml）。

今後も、さらなる軽量化に向けて努力を続けていきます。

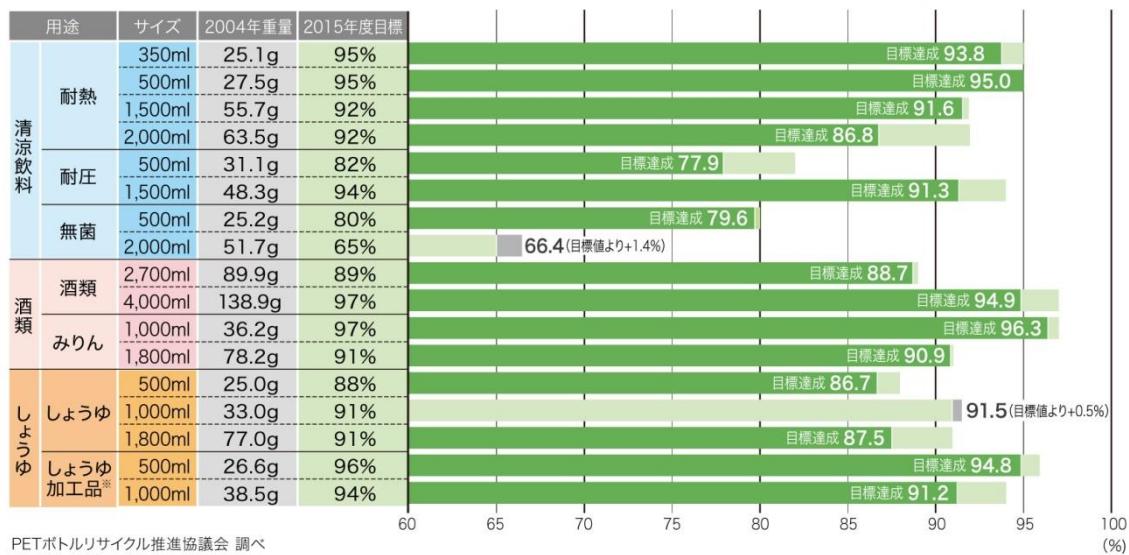


図 2 . 指定 PET ボトル・主要 17 種の軽量化目標と実績 (2015 年度)

●軽量化事例

P E T ボトルは、容器としての需要の広がりにともない、成形技術・充填技術の進展などにより、近年目覚ましい軽量化が実施されました。



●環境負荷増大の抑制について

図3に、清涼飲料用 P E T ボトルの出荷本数と、その原油採掘からボトル製造・供給に至る環境負荷の指標としての C O 2 排出量を経年で示しました。

P E T ボトルは、需要の伸びにともない出荷本数を増加させてきましたが、3 R推進のための自主行動計画を定めて取り組みを開始した2004年度以降は、出荷本数の増大に比べ C O 2 排出量の増大が抑制されているといえます（表3）。

これは、ボトルの軽量化を始め、省資源・省エネルギーの取り組みの効果が表れたものと考えます。

表3. 2015年度と基準年度（2004年度）との負荷比較

	2004年度	2015年度	2015/2004比
PETボトル出荷本数	億本	148	205.3
環境負荷(CO ₂ 排出量)	千トン-CO ₂	1,683	1.39倍



図3. 清涼飲料用 P E T ボトルの出荷本数と、その環境負荷 (C O ₂ 排出量) の推移

リサイクルへの取り組み 2015 年度リサイクル率 86.9%

2015 年度のリサイクル率の「分母」となる指定 PET ボトル販売量（総重量）は 563 千トンで、前年度比 1.1% の減少となりました。国内の指定 PET ボトルの販売本数は 1.0% の伸びでしたが、一層の軽量化が進んだために、ボトルの総重量は減少しました。

一方、リサイクル率の「分子」となるリサイクル量は国内再資源化量 262 千トン、海外再資源化量 227 千トンの合計 489 千トンでした。

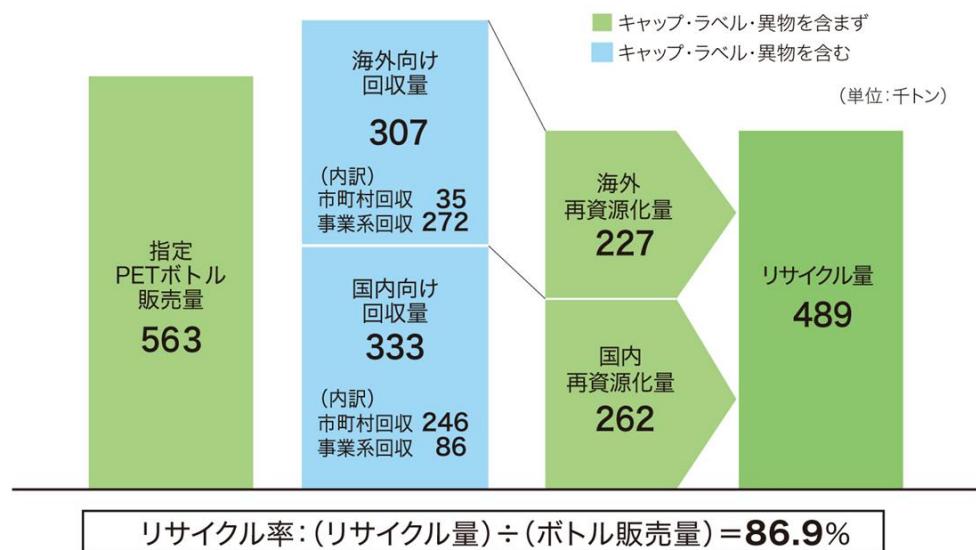


図 4. 回収・リサイクルの概要

●回収・リサイクルに関する推進協議会調査の強化

回収量調査にあたって、市町村回収については、環境省発表速報データを使用するとともに、使用済み PET ボトルの回収、再商品化を行う事業者へのアンケート調査を行い、国内リサイクル向けの回収量を集計しています。

また、輸出量調査にあたって、使用済み PET ボトルについては、2015 年 1 月より新設された財務省貿易統計の「フレーク状の PET くず（貿易コード 391590110）」の実数を使用し、ベール輸出については、バーゼル法輸出入規制事前相談結果集計における一般財團法人日本環境衛生センターの「PET スクラップ輸出量」を使用するとともに、PET くず輸出事業者へのアンケート調査を行い、海外リサイクル向けの回収量を集計しています。

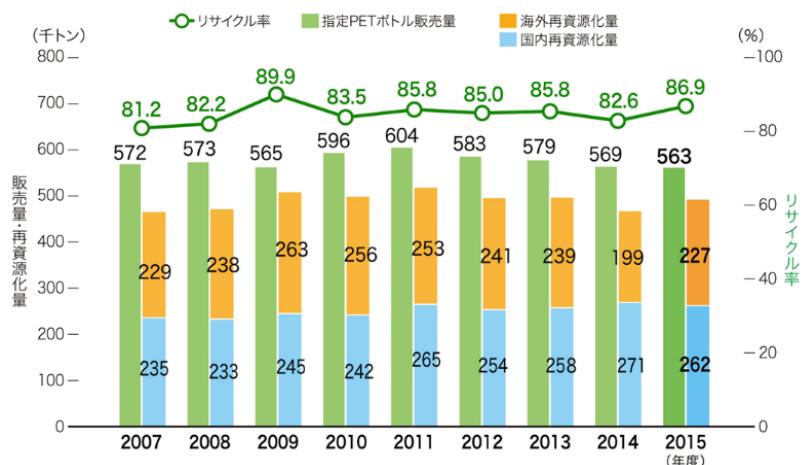


図 5. 国内再資源化と海外再資源化

国内での用途別 P E T リサイクル材使用量を調査

P E T ボトルが、国内で具体的に何にどれだけ利用されているかを 2008 年度より継続して調査しています。各用途別の利用量を、P E T ボトル (BtoB) 、シート、繊維、成形品、その他の製品形態群でくくり、2015 年度の利用量を 2014 年度とともに表 4 に示しました。

シートの利用量はメカニカルリサイクル設備の稼働に由来すると推察される食品用トレイの増加とブリスターパックの倍増が顕著で、対前年で 14.6 千トンの利用量増、16.2% の伸びで 104.7 千トンと 100 千トンの大台を超える値となりました。

繊維の利用量は 78.5 千トンと対前年で数量減となりましたが、引き続き P E T ボトル、シートとともに再生 P E T 樹脂の主要な用途となっています。

P E T ボトル (BtoB) の利用量は 37.2 千トンと、対前年で 3.6 千トンの利用量増となりました。BtoB 向けメカニカルリサイクル設備の増設が報告されていることもあり、循環型リサイクルである BtoB の今後の伸長が見込まれます。今後の増加が期待されます。

表 4. 2015 年度具体的製品例と利用量（調査結果）(単位 : 千トン)

製品例		2014 利用量	2015 利用量	構成比
PETボトル(ボトルtoボトルによる指定PETボトル)		33.6	37.2	16.4%
シート	食品用トレイ(卵パック、青果物トレイなど)	66.4	73.7	
	ブリスターパック(日用品などブリスター包装用)	9.7	18.8	
	食品用中仕切り(カップ麺トレイ、中仕切りなど)	3.4	3.7	
	その他(工業用トレイ、文具・事務用品など)	10.6	8.5	
		90.1	104.7	46.3%
繊維	自動車・鉄道関連(天井材や床材など内装材、吸音材)	33.2	28.3	
	インテリア・寝装具(カーペット類、カーテン、布団など)	21.7	22.7	
	衣類(ユニフォーム、スポーツウェアなど)	16.1	14.1	
	土木・建築資材(遮水・防草・吸音シートなど)	6.9	6.4	
	家庭用品(水切り袋、ワイパーなど)	3.4	4.1	
	一般資材(テント、のぼり、防球ネットなど)	5.0	1.8	
	身の回り品(エプロン、帽子、ネクタイ、作業手袋など)	0.0	0.1	
	その他(糸、不織布など)	1.6	1.1	
		88.0	78.5	34.7%
成形品	一般資材(結束バンド、回収ボックス、搬送ケースなど)	0.7	2.7	
	土木・建築資材(排水管、排水栓、建築用材など)	1.1	1.1	
	その他(文房具、事務用品、園芸用品、ごみ袋、衣料関連など)	3.4	1.9	
		5.2	5.7	2.5%
他	その他(添加材、塗料用、フィルムなど)	8.2	0.1	0.1%
		225.2	226.3	100%

広報活動の推進～啓発ツールの提供

●年次報告書の発行

2001 年以来、毎年発刊しており、前年度の 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）について 3 R 推進自主行動計画にそって業界をあげて真摯に取り組んでいる状況や、その成果を多くの皆さんに知っています。2016 年 11 月 24 日に、記者説明会を開催しております。



●広報誌「RING」

広報誌「RING」は 2013 年度から年 1 回の発行となり、新たにメールニュースを年 4 回配信しておりますが、2015 年度も継続し、前年同様、よりスピーディーな情報提供を行いました。

「RING」Vol.34 では、特集記事で 3 R 推進団体連絡会久保幹事長、幸幹事と「第 3 次自主行動計画について」座談会を行いました。また、「資源循環型社会形成を目指して」をテーマに神奈川県横浜市、宮城県仙台市の取り組みを、再商品化事業者としてウツミリサイクルシステムズ（株）、（株）タッグを、再生樹脂利用事業者としてリンテック（株）を、さらに会員企業訪問としてキッコーマン（株）を紹介しました。



「RING」Vol.34（6月発行）

●啓発ツールの提供

小学生環境教育用啓発動画「クイズで学ぼう!! PETボトルリサイクル」を改訂更新しました。小冊子「だいすき PETボトル」、ポスターなどと併せて、全国のリサイクルプラザなどに提供しています。

